

1. 科目名 (単位数)	病弱者の心理・生理・病理 (2単位)	3. 科目番号	SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350
2. 授業担当教員	工藤 傑史		
4. 授業形態	医療サイドから期待される教育についての講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	小児慢性特定疾病(心臓病、悪性新生物、喘息などの難治性呼吸器系疾患、腎臓病によるネフローゼ症候群などの内臓系疾患、血友病などの血液・リンパ系疾患、筋ジストロフィーなどの神経疾患等)を中心に病態等について学ぶ。疾患と呼吸ケア・痰の吸引・摂食指導・注入・導尿などの排泄指導など自立支援教育における必要なケアや使用機器などの基礎的理解をする。また意思表示が困難な児童の自己表現・自己選択・自己決定への支援や健康管理上の情報伝達手段や緊急時の学内連携についても考察する。また病弱児や障害児を理解するための医療・教育・療育機関の見学を行う。		
8. 学習目標	<p>・「生きる力をはぐくむ教育」の主な病気に関わる慢性疾患の病理・生理・心理を学び基礎知識・緊急時の対応・家族や地域生活を含めた教育環境整備・発達支援・自立支援について学ぶ。医療・教育・福祉の支援ニーズの評価や連携による支援などについて理解し、子どもの人権を守り、子どもの生きる力を引き出す教育について考察し、教育実践力に繋げていく。</p> <p>倫理観や社会的責任感、共感的態度及び、各疾患の生理・病理、病気の子どもの心理特性、病児とその家族の病気・障害・ケアに関する受容課程、家族の生活や心情、手術等への不安・退院後の学校生活・配慮事項・尊厳について学ぶ。特別支援を必要とする児童への教育支援を行うために医療職との連携・協力していくコーディネート力を培う。</p>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>「小児慢性特定疾患」から一つを選び、以下の内容でレポートし、発表してください。</p> <p>レポートの内容：①疾患の原因・症状 ②治療法 ③予後 ④学校生活で必要な配慮事項 ⑤参考文献</p> <p>*評価は、①書式や期日を守ったか ②簡潔に書けたか(簡潔でわかりやすい文章を書くことは教員に必要なスキル)、③積極的に他の文献を参考にして学んだか を基準とし、量ではなく質で評価します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】Web サイト：小児慢性特定疾患情報センター https://www.shouman.jp/about/</p> <p>【参考書】谷川弘治・駒松仁子・松浦和代・夏路瑞徳編『病気の子どもの心理社会的支援入門』ナカニシヤ出版、2009。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>授業課題の予習と復習レポート、グループワークへの積極的意見・発表資料等の作成・役割認識を評価する。(40%)</p> <p>期末テストにおいて、主要な疾患の病理・生理に関する基礎知識・病児の教育環境・自立支援・発達支援・合理的配慮・緊急時の対応について学習力を評価する。(60%)</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>病気の子どもには病気の症状に加え、年齢や発達段階、家庭や学校の生活を背景としたニーズがあります。病気に関する知識だけでなく、病児がどんな生活を送るのかを生涯にわたる視点で考えてください。生理・病理は皆さんが調べたり、グループワークを通して話し合ったりしたことを発表していただきます。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 小児医療における心理社会的支援サービスの理念	事前学習	「心理社会的支援サービス」とは何か調べておく。
		事後学習	小児医療で期待される「心理社会的支援サービス」とは何か調べておく。
第2回	子どもの発育と子育て	事前学習	病気の有無にかかわらず、乳幼児期に育てておきたいスキルとは何か考えておく。
		事後学習	上記について説明できるようにしておく。
第3回	病気の子どもの理解	事前学習	「病弱・病虚弱」の定義を調べておく。
		事後学習	病気について説明する場合、各年齢段階でどのような配慮が必要か説明できるようにしておく。
第4回	病気の子どものトータルケア	事前学習	長期入院児に特に不足しがちな環境とは何か考えておく。
		事後学習	上記について教師の立場で何ができるかまとめておく。
第5回	病気の子どもの心理社会的支援サービス	事前学習	医療が教師に求めるものとは何か考えておく。
		事後学習	上記について教師の立場で何ができるかまとめておく。
第6回	主な病気の病理と心理① －白血病・心臓病・腎臓病など－	事前学習	「白血病」の症状、治療法、学校教育での配慮事項とは何か調べておく。
		事後学習	入院中と地域の学校に戻ったときとに分けて、配慮事項を整理しておく。
第7回	主な病気の病理と心理② －糖尿病・筋ジストロフィーなど－	事前学習	「子どもの糖尿病」の症状、治療法、学校教育での配慮事項とは何か調べておく。
		事後学習	入院中と地域の学校に戻ったときとに分けて、配慮事項を整理しておく。

第8回	専門職の役割	事前学習	病気の子どもに関わる専門職の仕事とは何か調べておく。
		事後学習	医療現場における教師の専門性とは何か調べておく。
第9回	医療現場で働くための共通の基礎知識と技術	事前学習	インフォームドコンセントとは何か調べておく。
		事後学習	ヒヤリ・ハットとは何か調べておく。
第10回	医療と教育の連携	事前学習	医療現場で行う学校行事にはどのようなものがあるか調べておく。
		事後学習	療現場で学校行事を行う際の配慮事項についてまとめておく。
第11回	事例に基づいて（チームワーク）	事前学習	事前に示された事例を読んでおく。
		事後学習	事例に対する配慮事項をまとめておく。
第12回	病気の子どものいる家庭と暮らし	事前学習	事前に示された事例を読んでおく。
		事後学習	事例に対する配慮事項をまとめておく。
第13回	事例に基づいて（家庭支援）	事前学習	事前に示された事例を読んでおく。
		事後学習	事例に対する配慮事項をまとめておく。
第14回	事例に基づいて（ターミナルケア）	事前学習	各種疾患の病理、治療法、学校での配慮事項を整理しておく。
		事後学習	わからなかった部分を確認しておく。
第15回	病院内で教育活動を行う際の配慮事項（まとめ）	事前学習	医療現場で教育活動を行う際の配慮事項についてまとめておく。
		事後学習	個人情報の保護について再度確認する。
期末試験			